英彦山
観光案内図

1 上宮（山頂鎮座・標高1,188.2m）
英彦山３峰の中心、中岳の頂上に鎮座する英彦山神宮御本社。現在の社殿は天保13年（1842）、肥前藩主鍋島斉正公によって再建されたもので、昭和６年には大修理が行われました。

2 英彦山神宮奉幣殿（国指定重要文化財）
修験道時代の霊仙寺の大講堂。様式は千鳥破風入母屋造りで、現在の社殿は元和２年（1616）、小倉藩主細川忠興公の寄進により再建されたものです。

3 中宮（中津宮）
英彦山の12社権現の１社で、祭神は市木杵島姫命。社殿は安政４年（1857）、肥前藩主鍋島斉正公によって寄進されましたが、平成３年の台風により倒壊し再建されました。

4 材木石
南岳にある玄武岩柱状節理で、木材を積み重ねたように見えることから、この名で呼ばれています。また鬼が残した木材が石になったという伝説もあります。

5 望雲台
山伏の修行場のひとつで約150mの垂直の岸壁です。眺望は雄大で周防灘や田川盆地、平尾台、福智山などが遠望できます。

6 高住神社（豊前坊）
家内安全、牛馬安全、五穀豊穣に御利益があるとされています。また日本八大天狗のひとり豊前坊天狗が祀られていることでも有名。

7 磨崖仏
鎌倉時代の菩薩像で、高さは130㎝。壁には銘文が彫られています。

8 鬼杉（国指定天然記念物）
「鬼杉」は高さ38m、胸高周囲12.4m、推定年齢1,200年で林野庁発表の「森の巨人たち百選」に選ばれました。

9 大南神社（大南窟）
英彦山12社権現の１社で、祭神は天火明命（不動明王）。峰入り修行では重要な窟でした。

10 梵字ヶ岩
高さ30mの巨岩の壁面に「阿弥陀」「釈迦」「大日」３仏を示す梵字の彫刻が直径３mあまりの円内に見られます。

11 銅鳥居（国指定重要文化財）
高さ7m、柱まわり3mの青銅製の大鳥居。この鳥居は寛永14年（1637）肥前藩主鍋島勝茂公により寄進されたもので、鳥居の「英彦山」という額は享保19年（1734）に霊元法皇より下賜されたものです。

12 旧亀石坊庭園
室町時代の画僧雪舟が作庭したと伝えられ、国の名勝にも指定されています。

13 花園・スロープカー
銅鳥居から英彦山神宮奉幣殿までの849mを約15分で結ぶ英彦山スロープカーと、シャクナゲを中心とした花木が美しい英彦山花園です。

14 玉屋神社（般若窟）
法蓮上人（700年代）が英彦山で修行した窟で、現在旧暦の６月３日に行われる御池さらえの神事が有名です。湧水は日本三大霊水のひとつ。

15 財蔵坊（県指定有形民俗文化財）
山伏が生活した坊舎で規模としては中位ですが、当時のままの姿を残した唯一のものです。現在は添田町歴史民俗資料館です。
●開館日／土・日曜、祝日
午前10時～午後３時（冬期休館）

16 ひこさんホテル和
英彦山の大自然に溶け込んだ眺望の素晴らしいホテルです。のんびりと心安らぐ時間を過ごすことができます。

17 鷹巣原高原のススキ
英彦山青年の家キャンプ場そばの鷹巣原高原は約6haの広大な斜面にススキが群生し、秋になると一面銀世界に輝きます。

登山コースのご案内

A 約7.2km　所要時間 約3時間（往復）
登山口駐車場 ▶ 奉幣殿 ▶ 上宮

B 約12km　所要時間 約5時間
登山口駐車場 ▶ 奉幣殿 ▶ 上宮 ▶ 南岳 ▶ 鬼杉 ▶ 玉屋神社 ▶ 登山口駐車場

C 約12.8km　所要時間 約4時間
登山口駐車場 ▶ 奉幣殿 ▶ 上宮 ▶ 北岳 ▶ 豊前坊 ▶ 登山口駐車場

D 約17.2km　所要時間 約6時間
登山口駐車場 ▶ 奉幣殿 ▶ 玉屋神社 ▶ 鬼杉 ▶ 南岳 ▶ 上宮 ▶ 北岳 ▶ 豊前坊 ▶ 登山口駐車場